


令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

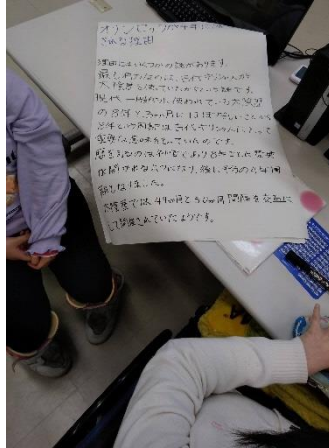
道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 福島県立郡山支援学校 】

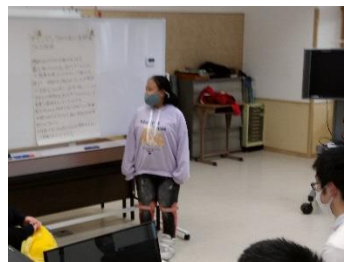
1 実践テーマ	①・II・III・IV・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	福島県立郡山支援学校 高等部生徒1～3学年10名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピックやパラリンピックが開催されるようになった背景等について知り、オリンピックやパラリンピックへの理解・関心を高め、自ら関心を持ったことについて調べ学習を行い、異なる視点からスポーツに対する理解を深めることができる。
5 取組内容	(1) 本校教師における、パワーポイントを使用したオリンピック・パラリンピックの歴史や各競技についての話を聞く。  (2) 調べ学習 教師から聞いたオリンピックとパラリンピックの話しから、各自が気になったことをもとにパソコンを使って調べ学習を行う。



(3) 調べたことをグループごとに模造紙を使ってまとめた。



(4) グループごとにまとめたことを発表した。



○それぞれが発表した内容を聞き、うなずいたり質問したりする姿が見られた。

6 主な成果

- ・オリンピックやパラリンピックが競技をするものだけの大会ではなく、主催者や運営側、競技ボランティアによって成り立っていることがわかり、自分たちも参加することができることを知ることができた。
- ・互いに協力して調べ学習をすることにより、コミュニケーションが図られ、オリンピックやパラリンピックに対しての興味・関心を高めることができた。
- ・スポーツを通しての目標実現に取り組んでいる選手の努力や取り組みを知り、スポーツについて興味・関心を高め、東京オリンピック・パラリンピックへの興味・関心・期待感を高めることにつながった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

- ・本年度は、外部からの講師やボランティアを迎えずに行ったことで、自分たちで調べ学習をする時間を設けた。
- ・生徒自身が自ら調べ学習を行うことで、よりオリンピック・パラリンピックを身近に感じられるようにした。
- ・講師をつとめた教師自身が東京オリンピックにかかわっていることもあり、出場選手の努力や競技運営における準備など

	より具体的な話をしたことで、興味・関心を持てるようにした。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため、外部団体と交渉ができなくなり、予定していた地域住民との交流を行う指導計画を変更したため、内容変更と事前資料作成等の準備に時間を要してしまった。 ・地域住民とのスポーツにおける地域交流がなくなったことで、本校生徒の学校での活動の様子を知っていただく機会ができなかった。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年度まで地域の高等学校（同世代）との交流学习を年2回（内1回はスポーツ的な内容）実施してきた。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により各種スポーツ大会が中止となったため、参加することができなかった。来年度以降も、スポーツを通して困難に立ち向かう姿勢や目標達成に向けた努力、成し遂げた時の達成感があじわえるように支援していきたい。また、校内だけでなく外部大会等を通して世代を超えた交流を行い、よりインクルーシブな社会の構築を広げる取り組みにつなげられるようにしていく。